

東日本大震災復興支援  
岩手県宮古市  
—物資、食糧支給—

One for all  
All for one

2011.3.11 東北地方太平洋沖地震 復興にむけての想い

尾道ラーメン炊き出し

# NPO法人Happy Japan Project企画

## 第二回尾道ラーメン炊き出し

場所:岩手県宮古市赤前小学校

2011年5月30日(月)

ラーメン150食、青汁人数分、煎餅一箱、数珠50個寄贈

特定非営利活動法人  
Happy Japan Project  
(東京を拠点に活動)



&

NHK朝ドラ「てっぱん」  
をきっかけに出会った人達



&

尾道ラーメン  
The☆どにち家  
(東京西新井大師のラーメン屋)



富司純子さん

尾道と言えば、NHK朝ドラ「てっぱん」のロケ地。

今回はてっぱんで初音おばあちゃん役の富司純子さんが、寒い尾道ロケで食べたがんに「屋ラーメンの味は、忘れられませんが、及ばずながら私も参加させて下さい」と、活動資金を寄付して下さい、今回の炊き出しが実現しました。

てっぱんの鉄兄役の森田直幸君も私達の活動に賛同してくれ、お手伝いに来ようとしてくれたのですが、残念ながら撮影が入ってしまったため、メッセージだけでも参加したいと連絡をくれました。

## 新企画「One for all All for one」

被災地の方々への応援メッセージを宮古に届けてきました。  
東北でもてっぱんは沢山の人が見ていたので、大変喜ばれました。  
メッセージを下された人

「富司純子さん、寺島しのぶさん、森田直幸さん、HJPの仲間達」



家を無くされ、仕事も無くされ、  
ご親族を亡くされ、悲しくやりばのない  
悔しさ、厳しい環境の中で日々を  
過ごされていらっしゃる方々に  
お慰めの言葉……も見つかりません、  
ただただ胸を痛めております、  
どうか、希望を棄てないで、  
負けないで下さい。  
一日も早く皆様に笑顔が戻られ、  
平穏な日が訪れることを祈念しております  
、細やかですが自分出来ることを  
その日まで…

富司純子

この度の震災で亡くなられた皆様に  
心よりご冥福をお祈りします。  
そして大切なものをなくされた  
皆様のお気持ちを思うと同じ  
日本人として心が痛み何をすべきかを  
私自身も色々な方たちと話し合っ  
て模索しております。  
皆様が何とかこの苦難を  
乗り越えられますように。  
一日も早い復興を心よりお祈りします。  
一緒に踏ん張りましょう。 寺島しのぶ



今回、震災により亡くなられた方、悲しい思いを  
された方の気持ちを思うとすごく心が痛みます。  
ご冥福お祈り申し上げます。  
自分としても、何かできることはないかと  
すごく考えました。現地に伺いたかったんですが、  
仕事で行けなくなってしまいました。  
つたない言葉で申し訳ありません。  
一日も早く復興できることを心より祈っています。  
森田直幸

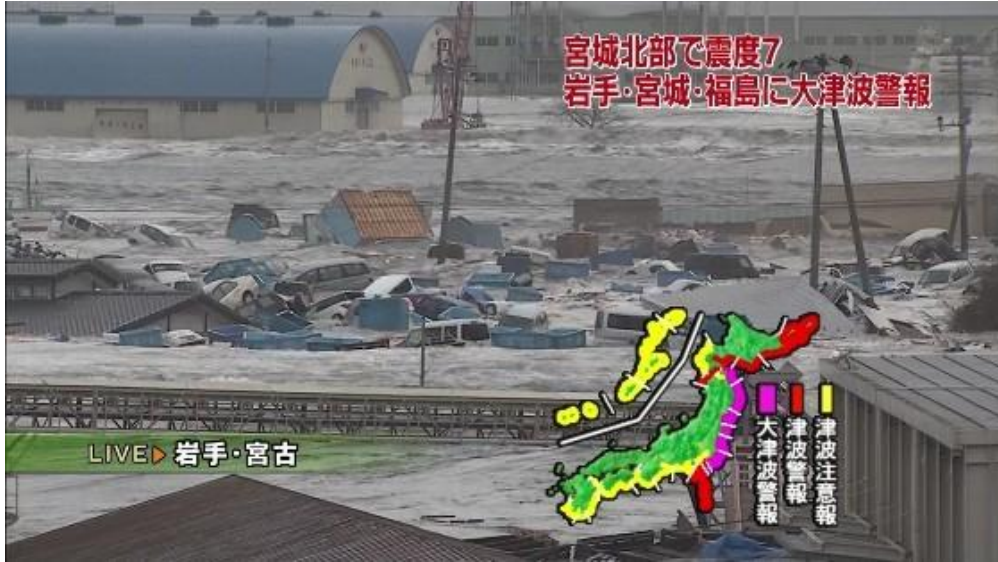


# 岩手県宮古市

東日本大震災で津波被害を受けた岩手県宮古市の

田老地区で、陸地の斜面をさかのぼって到達した津波の高さ(遡上高)が37.9メートルにまで達していたことが分かった。

田老地区にある小堀内漁港周辺の漂流物などを調査の結果、海岸線から約200メートル離れた山の斜面にまで、海水に押し流された材木が到達していたことが分かった。



5月30日(月)午前6時半 花巻を出発。

午前8時に宮古市待ち合わせ場所「区界高原」に到着。天候は台風の影響で雨。

雨は宮古に近づくにつれてどんどんひどくなっていく。気温は12度と寒かった。

宮古は津波の被害を受けた所と聞いていたが、宮古に入ってから被害を受けてる場所が見当たらず、「そんなにたいした被害じゃなかったのかな?」と一瞬思ったが、海沿いに着いたらその想いは吹き飛んだ。



# 赤前小学校

着いたのは宮古市の赤前小学校。生徒さん40人くらいの小さな学校です。  
その学校の下に行った所に集会場になってる避難所(仮設住宅が出来てるそうです)があるという  
事で、そこでやる予定でしたが、雨で下に降るのが危険なので(来る時の道もかなり危険でした)  
校長先生のご好意で小学校の玄関でやらせて頂ける事になりました。  
テントを組まなくていいので、楽に炊き出しの組み立てが出来ました。  
子供達は給食があるので、避難所の方々にと言う事でした。



## 今回のメンバー

島田薫 (HJP副理事、荏原商事社長)

池永憲彦 (HJP理事)

田口真吾 (the☆どにち家や大将、たぐち塾煎餅常務)

芳賀店長 (the☆どにち家や店長)

今回は場所が遠いこともあり、最小限のメンバーで向かった。



また今回はHJPの理事長が取り扱っているキューサイ青汁も提供しました。  
被災地は野菜不足から口内炎になる方が多いとか。  
少しでも栄養を補充してもらうためにお配りしました。とても喜んでもらえました。



ミラクル！

第一人目のお客様には驚きました。  
カズと縁があった人でした。カズがお世話になっている  
尾道の松愛堂の社長の息子さんの先輩で、  
昔東京の因島ふるさと会で一緒に飲んだ事ある人が、  
お母さんと一緒に来てくれました。  
こんな遠い場所で再会出来るなんて感動しました。  
彼は宮古に戻ったけど家が流されてしまい、仮設住宅に  
過ごしてるとの事。  
渾身の一杯を食べてもらいました。



台風が留まってる為、どんどん雨風がきつくなり、食べに来てもらえるか  
どうか心配でしたが、12時を過ぎた頃に避難所の方々が食べに来てくださいました。



皆さんから頂いたメッセージを  
ラーメンが出来上がるまでの時間に  
見て頂きました。  
皆さん富司純子さんのメッセージにびっくり。  
この炊き出しの経緯をお話すると感銘を受け、  
「富司純子さんに本当にありがとうございましたと  
お伝え下さい。私達ガンバります！」  
というお言葉を頂きました。  
てっぱんの鉄兄こと、森田直幸君が来てくれようと  
した事を伝えると残念がってました。



ラップで包んで「主人が喜ぶから持って帰ってあげるんだ」と、笑顔で避難所に帰っていかれたのがとても印象的でした。



子供達はなんと、給食の後に  
食べにきました。  
「おいしい！！」  
「半ラーメンください！」  
と、少しでも食べれるように  
半ラーメンメニューが出来上が  
りました。  
子供達の笑顔には  
逆に元気もらえます。  
早くこの子供達が安心して暮らせる  
毎日になりますように。



突然現れた阿部晋三元総理。HJPの活動と富司純子さんの  
心に熱く心を打たれておられました。





一人ひとりが手をつなぎ、笑い声いっぱい  
 笑顔あふれる未来を創ろう！ がんばろう赤前小学校！





今日出会った宮古の人達の笑顔を見て

「この方々が今、日本中の人達に勇気と希望を与えてる人なんだ」って思いました。  
「この方々が全世界から誇り高き日本人として賞賛されてる人なんだ」って思いました。

胸の奥からこみあげてくるものを感じ、お別れの時に  
心から「ありがとうございます」って言いました。

日本がもっともっと一つになりますように！

悲しいニュースに慣れませんかように。

一日も早く安心な毎日になりますように。